



アジアで一番きれいなビーチ
高浜ブームの仕掛け人來たる

地方の魅力の 見つけ方 伝え方

平成 30 年

7月8日(日) 宮脇書店和歌山店
14:00~17:00 入場無料

アジアで初めて国際環境認証「ブルーフラッグ」を取得した福井県高浜町の若狭和田ビーチ。この高浜町を紹介するガイドブック「高浜 Days」を手がけ、ブームの火つけ人となった宮田耕輔さんと和歌山大学観光学部の木川剛志先生が和歌山で地方都市の観光プロモーションについて熱く語ります。時には観光映像の紹介もしたりしながら。間に休憩も入れます。会場では宮田さんが制作した「高浜 Days」を購入することもできます。ぜひにお買い上げください。宮田さんがサインをしてくれるかもしれません。



宮田耕輔
月刊ウラ編集長

1971年福井県福井市生まれ。都留文科大学大学院卒業後、ワーキングホリデーでニュージーランドに1年間滞在。帰国後、1999年福井の情報誌「月刊ウラ」を発刊している株式会社ウラコミュニケーションズに入社。現在「月刊ウラ」の編集長を務める傍ら、NPO法人きちづくり福井の代表を務め、ポクサーパンツ専門店「ラーナニーニャ」を立ち上げ、「ふくいまちなかムービープロジェクト」を立ち上げ映画祭や映画制作プロジェクトを推進。一年をかけて制作した「高浜Days」を今春発売。



木川剛志
和歌山大学観光学部
准教授

1976年京都市上京区上七軒界隈生まれ。上七軒は京都の五花街の一つであるが西陣地区でもあり、機織りの音と三味線の音が交わる中を小学校に通う。京都工芸繊維大学造形工学科卒業後、スリランカを初め海外修行の旅に出て、建築と都市計画を学ぶ。2006年より福井工業大学に所属し、福井を舞台とした映画製作に関わる。2015年より和歌山大学観光学部に赴任し、地域プロデュース、観光映像、DMOを専門として地域発短編映画や観光プロモーション映像のあり方を実践的に研究している。

主催：和歌山大学観光学部木川研究室 共催：宮脇書店和歌山店

問い合わせ先：073-422-2151（宮脇書店） kigawa@center.wakayama-u.ac.jp（木川研究室）